

少し緊張しましたが、こんな機会
は二度と無いだろうと思えば若い若
者に混じって孫の授業参観に参加
しました。授業では積極的に手を挙
げて答えてくれるのを期待して見て
いました。

六年生の孫はなかなか手を挙げま
せん。親が小さい頃から「もっと積
極的になれば」と心配してしまし
たが性格はあまり変わっていないよ
うでした。

その時、何十年前ですが中学校
に勤めていた頃、出会った山中(仮
名)くんと言う生徒のことが頭をよ
ぎりました。

新学期が始まったばかりなので
「一日、一回以上発言をしよう」とい
う学級目標を掲げ取り組んでいまし
た。授業でも学級会でも委員会でも
一日に一度、みんなの前で発言をす
れば目標達成です。

山中くんは真面目で清掃活動や給
食当番等にきちんと参加していまし
た。しかし、発表や意見を言うのは
あまり得意ではなく時々しかその目
標に届きませんでした。

同じグループの生徒も心配して
「山中くん頑張れ」と応援していまし
た。私は「もっと積極的になれよ」と
言っていました。教師のそのくらい
の言葉では簡単には変わらないはずも
ありません。

六月になり学校では林間学校があ
りました。実行委員の元に計画を立
て実施され、第一日目の昼の日程も

終わりました。そして、林間学校の
恒例の夕食の飯ごう炊さんになりま
した。

だいたいのグループもカレーで
した。それでも普段、あまりしない
食事の支度です。見るとどのグルー
プも悪戦苦闘です。

その中で山中くんのグループは順
調でした。ある子は「先生見て。山
中くんがすごい」と言うのです。野
菜を切ったり、炒めたり手順が良く
指示も出していたのです。

山中くんの母親が家庭訪問の時
「私は、仕事をしています。この子
は良く家の手伝いをしてくれます」と
言っていました。兄弟も多くその
面倒も見ていました。その中で山中
くんはちゃんと育っていたのです。

林間学校での活躍が一つのきつ
けになったのか、山中くんは友達に
認められ自信が付き発言が多くなり
少し変わってきました。

その事でやっとなりがつきました。
大人が困ったものだ、頑張れと口
先で言っているだけでは何もしな
いのと同じです。その子の良い所
を発見し褒め、活動の場を作らな
いと子どもは変わらないというこ
とです。それは学校も家庭も同じ
かもしれません。

授業は最後になり、担任の先生
は意見を言わなかった子にやさし
く「授業の感想を言ってね」と全員
に発表の機会を与え、爽やかに終
えました。

連載・青少年健全育成シリーズ 第301回

「子どもはどこで変わるのだろうか？」

青少年の声かけあいさつ運動の推進
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

毎月第1日曜日は「家庭の日」
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。
青少年育成都留市民会議編集委員

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,300部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合せ先：総務課 法制広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額/枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。
掲載状況は、下記をご参考としてください。
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄